

## あけましておめでとうございます

2018年の幕開けです。今年も図書館をご活用ください。  
本館では、1階展示コーナーで次のような展示を行います。

■ 1/5 (金) ~ 1/25 (木) ■  
**可児市立図書館開館 40 周年記念  
ようこそ図書館へ！展 (本館1階)**

昭和 53 (1978) 年に可児町立図書館が開館しました。  
可児の図書館の歩みのほか、図書館の活用法や図書館  
を舞台とした小説などをご紹介します。

■ 1/27 (土) ~ 2/22 (木) ■  
**新聞を読もう！展 (本館1階)**

図書館では新聞を保存しています。昭和 47 年から  
の縮刷版や、地方版のバックナンバーを見ることが  
できます。その年の 10 大ニュースを調べることも  
できます。過去のニュースを見てみましょう。

### 図書館 なつかし写真館

昭和 59 年に現在の建物ができました。その当時の写真です。



## 職員のおすすめ《この書き手に注目！》

### 北川 恵海

(きたがわ えみ 大阪市生まれ)  
『ちょっと今から仕事やめてくる』(KADOKAWA)  
で第 21 回電撃小説大賞<メディアワークス文庫賞>  
を受賞しデビュー。今年映画化されました。

私がおすすめるのは『ヒーローズ (株) !!!』(KADOKAWA) です。

コンビニでバイトする田中修司は、借りのある同僚から 1 週間だけのバイトを頼まれます。『ヒーローズ (株)』という社名の「ヒーロー製作」を職種とする怪しげなこの会社で初めに任されたのは、人気漫画家の話を聞いてあげるといふ仕事でした。まじめに仕事をやる姿が同僚や依頼人から信頼されるようになりますが、過去のトラウマが立ち塞がり…。

個性のある社員たちが、曲者揃いの依頼人に思いやりあふれる対応でヒーローにしてゆきますが、陰にはそれぞれに辛い過去を抱えながら強く生きようとする姿こそ正にヒーローです。

元気とやる気を起こしたい方は是非！そっと背中を押してもらえる気がします。

(本館 土谷)

### ケイト・モートン

(1976 年オーストラリア生まれ)  
クイーンズランド大学で舞台芸術とイギリス文学を修めた。『秘密』がオーストラリア ABIA 年間最優秀小説賞、第 6 回翻訳ミステリー大賞、第 3 回翻訳ミステリー読者賞受賞。2017 年『湖畔荘』が東京創元社より刊行。

数多くの賞をとった『秘密』(青木純子/訳、東京創元社)。主人公ローレルは、子どもの頃母親が見知らぬ侵入者を刺し殺すところを目撃します。正当防衛ととられたその事件。しかし、ローレルは聞いてしまいました。その男が母の名前を呼んだことを。

大人になったローレルは、母の過去を探し始めます。物語は過去と現在を行き来し、そして最後に「ああ、そうだったのか。だからなのか」と納得の真実が。散りばめられたさりげないヒントは、読み終わってみればわかるものの、私はあっさり騙されてしまいました。モートンは物語力があり、そこにサスペンフルな要素が加わり、一級品の小説に出来上がっています。表紙の絵にも「秘密」が隠されていますよ。

(帷子分館 瀬尾)

## あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
024.0/コ/	<b>この星の忘れられない本屋の話</b> 北京の食品マーケットに隣接する隠れ家のような書店から、ワシントン DC、ベルリン、ナイロビ、イスタンブールの古書店街まで。世界各地の作家 15 人が、身近な本屋や古本屋にまつわる話を綴ったアンソロジー・エッセイ集。	ヘンリー・ヒッチングズ／編	ポプラ社
070.4/オ/	<b>パラダイス文書</b> ICIJ のメンバーとして、また朝日新聞の記者として、タックスヘイブンの取材に携わってきた著者が、「テラ内部告発」「メガ調査報道」の潮流を、源までさかのぼって考察。パラダイス文書に至るまでの道のりをたどる。	奥山俊宏／著	朝日新聞出版
歴史・伝記			
210.4/ワ/	<b>バテレンの世紀</b> ペリー来航の 300 年前、日本人とヨーロッパ人の衝撃的な出遭い！ キリスト教伝来と布教、信長・秀吉・家康らの反応、禁教、弾圧、鎖国など、日欧の「ファースト・コンタクト」を鮮やかに描く。	渡辺京二／著	新潮社
253.0/オ/	<b>キリング・ザ・ライジング・サン</b> 日本軍に敵意とリスペクトを持つマッカーサー将軍。果て無き泥沼へと突き進む日本の軍部。昭和天皇の苦悩…。アメリカ側から見た太平洋戦争の真実を臨場感溢れる筆致で描いたノンフィクションを邦訳。	ビル・オライリー／著	楓書店
281.0/ゴ/	<b>お墓からの招待状</b> 国定忠治、銭形平次、キリスト、浦島太郎、因幡の白ウサギ…。虚実混在の人物の墓から架空の主人公、別世界に現れる人物、昔話を彩る鳥獣のものまで、全国各地にある不思議な墓や意外な墓を紹介する。写真も掲載。	合田一道／著	北海道出版企画センター
社会			
314.8/ハ/	<b>黙殺</b> 今、日本で最も有名な無頼系独立候補(=泡沫候補)、マック赤坂への 10 年に及ぶ密着取材報告をはじめ、平等な選挙が行なわれない理由、2016 年東京都知事選挙における主要 3 候補以外の 18 候補の戦いなどをまとめる。	畠山理仁／著	集英社
326.2/ゴ/	<b>青年市長は“司法の闇”と闘った</b> 全国最年少市長を襲った、身に覚えのない「浄水プラント収賄疑惑」。なぜ何ら証拠も出てこないのに、二審では逆転有罪判決が下されたのか？ 藤井浩人美濃加茂市長とともに検察の闇と闘った弁護士の熱き記録。	郷原信郎／著	KADOKAWA
334.4/シ/	<b>新移民時代</b> 2016 年、日本国内の外国人労働者が 100 万人を突破した。移民政策をどうするのか。日本で暮らす外国人の実像や、彼らなしでは成り立たない日本社会の現実を見つめ、共生の道を探る。	西日本新聞社／編	明石書店
367.1/ク/	<b>誰も教えてくれなかった子どものいない人生の歩き方</b> 子どもがいない人生を深掘りする一冊。子どものいない女性 13 名+男性 2 名の体験談、脳科学・心理学・母性・不妊・社会学の専門家のインタビューなどを収録する。人生を好転させる 9 つのヒントも紹介。	くどうみやこ／著	主婦の友社
自然科学・医学			
451.9/ユ/	<b>気象災害から身を守る大切なことわざ</b> NHK ラジオ「先読み!夕方ニュース」で伝えた、天災地変から生き延びるヒントをまとめた一冊。気象災害から身を守るために覚えておきたい、全国各地のことわざや言い伝えをやさしく解説します。	弓木春奈／著	河出書房新社
498.3/ハ/	<b>酒好き医師が教える最高の飲み方</b> 「油系つまみ」を先に食べて悪酔いを防ぐ、生活習慣病の改善に日本酒が効く、二日酔いの対策に最強の食材は「納豆」…。酒好き医師が、自らも実践するカラダにいい飲み方を伝授する。	葉石かおり／著	日経 BP 社
技術・家政			
527.1/シ/	<b>シェアハウス図鑑</b> 「京町家を連携」「大浴場をリビングに」…。生活空間のおもしろさを生み出している、国内外 23 のシェアハウスを写真や図面、イラストを用いて徹底解剖。設計や運営に役立つ Q&A「正しいシェアハウスのつくり方」も収録。	篠原聡子／編著	彰国社

593.8/=/ 616.2/イ/ 723.1/ク/ 751.1/ク/ 789.6/キ/ 830.7/シ/ 913.6/アサ/ 913.6/カワ/ 913.6/クサ/ 913.6/コン/ 913.6/サワ/ 913.6/セト/ 913.6/タカ/	<p><b>人気の悉皆屋女将に教わる初めてのリサイクル着物</b> はじめて着物を着る人に向けて、リーズナブルに最初の一枚を手に入れる方法や、日常のお手入れ&amp;お直し、リフォームの楽しみ方と成功術などをアドバイス。</p> <p><b>千年の田んぼ</b> 秘境の離島に日本最古の田んぼ? いったい誰が? なんのために? 日本海の荒波の向こうに浮かぶ島、山口県萩市見島に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。</p> <p><b>もっと知りたい熊谷守一</b> 明治、大正、昭和という長い期間、画家として活動してきた熊谷守一。単純な線と明快な色彩で表現する作風「モリカズ様式」を完成させた熊谷守一の生涯や変遷をたどりながら、作品の魅力と本質に迫る。</p> <p><b>うつわ作家名鑑</b> ベテランから若手まで、うつわ作家 100 人の作品を、陶器・磁器・木器・漆器・ガラス器のジャンル別に紹介。ほか、いま注目の作家の工房探訪&amp;作品カタログ、うつわをこよなく愛する料理店のうつわ術などを収録する。</p> <p><b>騎馬武者</b> 日本に残された数少ない在来馬。和式馬術に練達した乗り手。甲冑武者が馬蹄を響かせ、矢を放ち、薙刀を揮う。いにしへの絵巻物のように騎馬武者を再現した写真を解説とともに多数掲載する。</p> <p><b>社会人のための英語の世界ハンドブック</b> 英語圏の文化や事情、英語の歴史、映画・音楽・スポーツ、英語でのプレゼンや履歴書の書き方などを解説する。英語の知識を“広げる”“深める”情報が満載。</p> <p><b>おもかげ</b> 定年の日に倒れた竹脇は、ベッドに横たわる自分の体を横目に、奇妙な体験を重ねていた。自らの過去を彷徨う竹脇の目に映ったものは…。心揺さぶる、愛と真実の物語。</p> <p><b>テラー伊三郎</b> 保守的な田舎町の老舗紳士服店に飾られた美しいコルセット“コール・バレネ”。それは、貧困家庭に育つ高校生・海色の人生を変える、色鮮やかな「革命」の始まりだった…。痛快エンタメ。</p> <p><b>カネと共に去りぬ</b> ある朝、目を覚ますと、ベッドの上で自分の心が巨大な毒虫のように変わっていて…。文豪の名作を換骨奪胎し、現代医療の問題を鋭く抉る。「変心」をはじめ全 7 編を収録。</p> <p><b>道標</b> 東京湾臨海署刑事課強行犯第一係、通称「安積班」。そのハンチョウである安積剛志警部補の、警察学校時代から現在の刑事課強行犯第一係長に至るまでの短篇集。</p> <p><b>火定</b> 時は天平。藤原四兄弟をはじめ寧楽の人々を死に至らしめた天然痘の蔓延を食い止めようとする医師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち。生と死の狭間で繰り上げられる壮大な人間絵巻。</p> <p><b>いのち</b> ガンと心臓の病に襲われ、痛切な老いに直面した私。脳裏に蘇るのは、70 年近い作家人生で出会った男たちと、筆を競った友の死に様だった。小説への愛と修羅を生きた女の鮮烈なくいのちを描く。</p> <p><b>白磁海岸</b> 16 年前の大学生の謎の死と、若き大学講師が発見した朝鮮白磁の正体をめぐる、驚くべき物語。古都金沢を舞台に描く、恋愛小説とミステリが融合するエンタテインメント長篇。</p>	高橋和江/監修 石井里津子/著 池田良平/監修・著 紅葉台木曾馬牧場/監修・協力 酒井志延/編 浅田次郎/著 川瀬七緒/著 久坂部羊/著 今野敏/[著] 澤田瞳子/著 瀬戸内寂聴/著 高樹のぶ子/著	世界文化社 旬報社 東京美術 榎出版社 新紀元社 大修館書店 毎日新聞出版 KADOKAWA 新潮社 角川春樹事務所 PHP 研究所 講談社 小学館
---	--	--	--

913.6/リ/	<b>本物の読書家</b>	乗代雄介／著	講談社
	老人ホームに向かう独り身の大叔父に同行しての数時間の旅。同じ車両に乗り合わせた読書家らしい男にのせられ、大叔父が明かした驚くべき秘密とは。表題作のほか、「未熟な同感者」を収録。		
913.6/ヒガ/	<b>女の子のことがばかり考えていたら、1年が経っていた。</b>	東山彰良／著	講談社
	如何にモテるか。それだけをこの胸に問い続けて、今日まで生きてきた。「モテ」という人類最大のテーマを描いた、有象無象たちの物語。		
913.6/ムラ/	<b>バースデイ・ガール</b>	村上春樹／著	新潮社
	孤独のうちに、あまりぱっとしない20歳の誕生日を迎えた女の子。ささやかな乾杯のあとで、彼女の人生に何が起こったのか。「バースデイ・ストーリーズ」所収の名短篇に、鮮烈なイラストを添えて収録。		
913.6/モロ/	<b>森家の討ち入り</b>	諸田玲子／著	講談社
	赤穂四十七士には、隣国・津山森家の旧臣3人がいた。光を浴びることのなかった男たちと、彼らを支えた女たちによる、心震わせる戦いを描く。		
913.6/ワカ/	<b>おらおらでひとりいぐも</b>	若竹千佐子／著	河出書房新社
	「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。		
<b>外国文学</b>			
933.7/チ/	<b>水底の女</b>	レイモンド・チャンドラー／著	早川書房
	香水会社の社長から行方知れずの妻の安否確認を依頼された私立探偵マーロウ。妻が滞在していた湖畔の町を訪れるが、そこで別の女性の死体が見つかり…。「私立探偵フィリップ・マーロウ」シリーズの新訳。		
933.7/ホ/	<b>地下鉄道</b>	コルソン・ホワイトヘッド／著	早川書房
	ユーラは農園の奴隷だ。身よりはなく、仲間からは孤立し、主人は残虐きわまりない。ある日、新入りの奴隷に誘われ、彼女は逃亡しようと決意する。農園を抜け出し、沼地を渡り、地下を疾走する列車に乗って、自由な北部へ…。		

## 重 要 な お 知 ら せ

### 【貸出カードの更新について】

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。

平成27年(2015年)の時点で登録されていた貸出カードの有効期限は平成30年(2018年)のお誕生日になります。そのため12月から、有効期限が近づいた方にカウンターで更新のお知らせをします。住所・電話番号等の確認を行い更新します。

**更新の時には、運転免許証や保険証など、住所の証明できるものをご提示ください。**  
**高校生以下の方は、同伴する保護者の方の証明でも可能です。**

## 新 春 か る た 会 の ご 案 内

図書館・読書サークル共催事業 **百人一首・かるた会** を開催します。初心者・経験者に分かれてゲームをします。大人も子どもも、気軽に参加してください。

日時：1月13日(土) 午前9時30分から11時30分まで

会場：広見公民館 ゆとりピア(図書館ではありませんのでご注意ください)

参加費：無料

申込・問合先：可児市立図書館本館 電話(0574)62-5120



開館時間 【本館】平日 10:00~19:00、  
土日祝 10:00~17:00  
【分館】全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日  
1月 1~4,8,15,22,26,29日

スマート  
フォン用  
サイト



「図書館だより」2018年1月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。